

会 議 録

会議の名称	令和元年度 第1回文化財審議会
開催日時	令和元年6月27日(木) 15時00分~16時30分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	吉川節男委員、佐々木真理子委員、大久保善郎委員、川勝義彦委員、 塩入たま江委員、杜多堯慶委員、松本伸行委員 事務局 (深迫課長、高見副課長、堀主査)
欠席者	
会議次第	1. 議案事項 (1)市指定文化財の諮問について (2)文化財保存事業費補助金の交付について 2. 報告事項 (1)平成30年度文化財保護事業について (2)令和元年度文化財保護事業について (3)その他 3. その他
会議資料	・文化財保護事業に関する資料
公開・非公開	公開 (傍聴人 0人)
会議録確認	吉川委員

会議内容

あいさつ（議長、課長）

1. 議案事項

（1）市指定文化財の諮問について

事務局：5月の定例教育委員会議で市指定文化財の諮問について承認を得た。対象とする文化財は、昨年度審議会でも調査を実施した水宮神社所有の役行者座像である。まず、課長より諮問書を文化財審議会議長にお渡しするので、ご審議いただきたい。

— 諮問書の受け渡し —

委員：指定文化財の諮問について受けましたので、1月31日までに答申するよう審議を進めていきたい。まず事務局より指定文化財の諮問対象である水宮神社所有の役行者座像について説明をお願いする。

— 事務局より説明 —

委員：では、役行者座像についてご質問等あるか。

委員：昨年度、文化財審議会で、150年ぶりに水宮神社に返還された役行者座像や不動明王座像を調査したが、今回の諮問の対象は役行者座像だけなのか。

事務局：まず、役行者座像については修験道の開祖であるため、修験道に関連する資料として富士見市の民間信仰の歴史を示すものとして、また美術品としても優品である。不動明王座像は確かに優品であるが、作成年代も不明で、不動明王自体が修験だけに限らないものなので般若院に関連したものかどうか現時点では定かではないという理由で今回は見送った。

委員：神社と寺院は以外と密接に関係していたりするので、大應寺等にも関連資料として文書等が残っている可能性もあるかもしれない。

委員：市指定となった場合、資料館等で写真等を展示し説明するといったことは可能か。

事務局：市指定となれば、その周知も必要となる。審議会の中でもそうした意見があったことは資料館等にも伝えるようにする。

委員：諮問対象について、他に質問はないか。なければ次回、指定について審議していきたい。

委員：続いて、次の議案である文化財保存事業費補助金の交付について、事務局より説明をお願いする。

事務局：市指定無形民俗文化財であるお囃子や獅子舞を継承する7団体で構成される文化財保存団体連絡協議会から補助金の申請が提出されている。富士見市文化財の保存及び活用に関する条例第11条及び富士見市文化財保存事業補助金交付要綱に基づき、交付に際しては文化財審議会の意見を伺うことが決められている。ご意見を伺いたい。

事務局：補助金については、後継者育成と道具の修繕に充てている。昨年度は、道具の修繕については水子上組囃子連で提灯の新調を行っている。

委員：郷土芸能は太鼓や衣装など費用がかかる。引き続き補助をお願いしたい。

委員：道具はともかく、後継者育成が非常に難しい。補助金もちろん必要だが、今後、市としてもどうするか考える時期だと思う。

事務局：各団体の意見を聞きながら、考える必要がある。

2. 報告事項

(1)平成30年度文化財保護事業について

— 事務局より報告 —

- ・発掘調査では、昨年度 44 件の届出があり、うち本発掘調査 14 件、現状保存 6 件を実施。

(2)令和元年度文化財保護事業について

— 事務局より報告 —

- ・文化財保存団体連絡協議会結成 30 周年記念として郷土芸能公演事業を実施予定。
- ・水子貝塚史跡指定 50 年をテーマに企画展を予定。

(3)その他

— 事務局より報告 —

- ・各種委員の推薦について報告。

次回会議、 10 月初旬に調整する。

